

第2回 理事会(WEB理事会)

日 時：令和2年5月21日(木)14:30~18:40

場 所：学会会議室および各所

出席者：脇坂会長(議長)、木方副会長、向山副会長、清水常務理事、伊藤、稲垣、太田、大谷、大沼、奥村、長田、小俣、北田、黒木、金、鈴木、高橋、遠田、徳永、中曾根、原、舩山、和田各理事

監 事：野村、齋藤各監事

陪 席：熊谷(事務局)

欠席者：小松原理事

(テレビ会議システムを用いて適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを理事23名、監事2名が確認した。よって理事24名中23名の出席(過半数)となり理事会は成立)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

1) 令和元年度第9回理事会議事録の確認

・令和2年1月20日開催の第9回理事会の議事録について承認した。

2) 令和2年度第1回理事会(書面審議)議事録の確認

・令和2年4月14日~4月20日にかけて行った令和2年度第1回理事会(書面理事会)の議事録について承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況及び新入会員の承認

・14名の正会員、4名の学生会員の合計18名について、入会を承認した。

・5月21日時点では、正会員1,825名、学生会員34名、名誉会員56名となり、総数は1,915名であることが確認された。

2) 委員、部会員の承認

・常置委員会、研究部会、特別委員会から提出された18件の委員新任を承認した。

3) 定時社員総会の招集と開催方法に関して

・会長から6月の定時社員総会は原則として代議員に出席を求めないなど規模を縮小して招集すること、また、代議員が書面によって議決権を行使する方式とする場合は理事会決議が必要との説明があり、議決権の代理行使書面、議決件行使書面が説明された。

・令和2年度定時社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることを承認した。

・議決権の代理行使書面、議決権行使書面の内容を承認した。

4) 代議員総数について

・令和2・3年度代議員総数について、前回同様に120名とすることを承認した。

5) 令和2・3年度理事候補者の理事会推挙について

・常務理事から、令和2・3年度理事候補者について、留任13名、新任11名の案が示された。

・留任13名、新任11名の理事候補者について、理事会推挙とすることを承認した。

・長田理事から、地下水研究部会以外の常置委員会、研究部会からは専任の理事が出されているため、地下水研究部会専任の理事を加えてはどうかとの意見が出され、地下水研究部会から理事候補を選任して頂くこととした。

6) 積立金関連の規則の改定及び規程の制定及び改定

・事務所拡充積立金について、過去の使途の実態に合わせて名称を学会運営積立金に変更することとし、事務所拡充積立金運用規程を学会運営積立金運用規程に改正することを承認した。

・新たに記念行事積立金運用規程を制定することを承認した。

・上記の規程の改正および制定に伴って、規則の関連条文の改正を承認した。

7) 将来構想委員会準備会およびダイバーシティ推進準備会の特別委員会への移行について

・木方副会長から、現在まで活動を行ってきた2つの準備会を令和2年度から特別委員会とする案が示され、趣意書および委員募集の会告案が説明された。

・将来構想検討特別委員会、ダイバーシティ推進特別委員会の設立を承認した。なお、6月号掲載の会告文は会長名とする。

8) 名誉会員・功労賞選考結果と対応について

・木方副会長から、功労賞の該当者はいないこと、名誉会員としては従前の選考の目安に基づき5名を選考したことが報告された。

・選考された5名の会員について、名誉会員に推挙することを承認した。

・現状での50名を超える名誉会員数および会員の減少などの学会の将来像から、従前の方式で今後も名誉会員を選考していくことについて異議が出された。

・将来構想との関連も深いですが、まず、次回以降の理事会で議論を深めて行くこととした。

9) 日本応用地質学会表彰の表彰盾の贈呈時期

・令和2年度予算案に計上されていた日本応用地質学会表彰の表彰盾に関して、表彰盾の贈呈時期について審議が行われた。

・同表彰の表彰式は令和2年度第1回理事会にて来年度の総会時に行うことが決議されていたが、審議の結果、表彰盾は近日中に贈呈することとし、来年度の総会時には受賞者に受賞のスピーチをしていたこととした。

10) 令和2年度予算案について

- ・事務局長から、令和2年度予算案が説明された。当期収支差額は60万円のプラスであり、用途未定の予備費を加えれば約90万円の黒字予算である。
- ・令和2年度はコロナ禍により年度初めのイベントの中止・延期が発生し、特に収入面で不透明な部分は残るが、変動が予測される場合は適時理事会で審議することとし、令和2年度予算を承認した。

11) 総会資料(令和元年度事業報告案・令和2年度事業計画案)

- ・常務理事から総会資料が説明された。
- ・本日の審議結果を反映した内容とすることで、本資料を総会資料(令和元年度事業報告、令和2年度事業計画他)とすることを承認した。

12) 令和2年度シンポジウムの延期について

- ・担当理事から、令和2年度シンポジウムの延期に関して、事業企画委員会案が説明された。
- ・延期の会告は、開催を延期することのみとすることで承認した。
- ・延期としたシンポジウムをいつ、どのような開催形式(web方式も含めて)で行うかについては、次回以降の理事会で検討することとした。

13) 令和2年度研究発表会の開催方法：確認事項から審議事項へ移行

- ・担当理事から、新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態の継続措置により、研究発表会の開催方法に関してこれまでに理事会承認を経て進めてきた事項のうち、ペーパーレス化、参加費徴収方法の変

更については従前の方法に戻したいとの説明があった。

- ・参加登録料の事前支払いと講演論文集のペーパーレス化は見送りとすることを承認した。

3. 確認事項

1) 収支状況

- ・事務局長から、令和元年度3月期の収支状況が説明された。

2) 新型コロナウイルス感染拡大を受けての対応について

- ・会長から、3月以降に発出された緊急事態宣言に対する学会の対応の流れが説明された。解除後の対応については改めて示す予定である。

4. 本部からの報告事項

1) 他学協会からの依頼

- ・常務理事から、概要が説明された。

2) テレビ会議による理事会について

- ・向山副会長から説明があった。

3) 職務執行状況(令和元年度後半)の報告

- ・第2回理事会終了後に、令和元年度(後半)における会長、副会長、常務理事の職務執行状況が各理事に報告された。

5. 委員会、支部からの報告

- ・総務委員会から5月18日開催の総務委員会議事録案が提出された。
- ・九州支部から令和2年度の活動計画(修正版)が提出された。